

# 霞ヶ浦においてハクレンの 稚魚を確認

■ 霞ヶ浦の沖宿沖でハクレンの稚魚が見つかりました。



写真左 霞ヶ浦において採集されたハクレンの稚魚

(令和5年 7月5日 土浦市沖宿沖 トロール調査時に採集；標準体長 22.7 mm)

写真右上および右下 桜川において採集されたハクレンの卵

(令和5年 6月5日 土浦市佐野子地先 直径約 5 mm)

令和5年7月5日に霞ヶ浦の土浦市沖宿沖で実施されたトロール調査※において、ふ化後1ヶ月程度と推測されるハクレンの稚魚1尾が採集されました。

ハクレンは中国原産の外来種で、国内では利根川本流で産卵することが知られていますが、霞ヶ浦に流れ込む桜川でも産卵することを現場にて確認しています。

6月5日にも桜川を流下する受精卵を確認していることから、今回採集された稚魚は桜川で生まれた可能性があります。

これまでハクレンは、平成29年の夏に霞ヶ浦におけるトロール漁でハクレンの未成魚が大量に混獲された例があるなど、ハクレンによる漁業被害の発生が懸念されることから、現場では引き続きハクレンの動向を注視していきます。

※ トロール漁の解禁前に霞ヶ浦漁業協同組合が実施

(内水面支場 高濱優太、山崎和哉)